



総務建設産業委員会

路線認定(宮地南18号線)

問 東より進入し、発電所を見学したいとの声がある。

東側からも、車が通行出来る道路に拡張できないか。

答 この周辺は、ふれあい街道の学習ゾーンとして位置付けており、将来的に、この一帯の整備計画で検討したい。

その他に、ふれあい街道沿いの「清流発電所」の表示看板を、もう少し大きくしてほしいとの要望があった。



現状の表示看板

一般会計補正予算

問 栄町会館の改修費(スロープ・駐輪場整備・屋根)補助金、百四十三万六千円は何割補助か。

答 スロープなどの福祉施設は、100% (限度額五十万円)、福祉施設以外は、五十万円を超えた事業費に対して30%の補助率である。

問 栄町会館の改修費(スロープ・駐輪場整備・屋根)補助金、百四十三万六千円は何割補助か。



栄町会館のスロープ

問 集落公民館の建設事業補助金について、建設だけの過去の町補助金最高額は、いくらか。

答 新築の場合で、町からの補助金は五百万円。以前は県補助があり、五千万円が最高で、一千万円もあった。近年は、バリアフリーの補助率を上げて進めてきたといった経緯もある。

問 農業集落排水事業の繰り出し金、六百十一万円の内容は。

答 白鳥地区の農業集落排水施設内の汚水切り替え弁の交換。弁本体を閉じて、にじみ出して適切な処理が出来ないので交換が必要である。

問 農業振興費の三百七万六千円は事業費の何%の補助率か、その内容は。

答 事業費は六百万円を超え、補助率は県からの基準で2分の1。導入機械につ

いては、米の乾燥機2台、あぜぬり機1台分の補助金である。



あぜぬり機

問 池田町では、いち早くコミュニティバスが運行されるが、地域住民の足となつて、それぞれの利用人数と年間の費用はどれくらいか。

答 29年度の実績で、北回りが4,965人、南回りが5,610人で、年間費用は、全体の金額で、約一千九百万円。

問 池田町として今後、足の悪い人やお年寄りが希望する、家まで来てくれるデマンドタクシーの実施検討は。

答 池田町は、駆除したいノシシやシカの肉の加工で売りだそうとしているが、池田町はそのような考えはあるのか。

答 個人負担金、利用者の時間帯、費用など、あらゆる面を今、検討している。

問 農地・水・環境保全推進協議会における、お茶の木の刈り払い補助金として対象になるのか。

答 有休農地の発生防止のための保全管理の項目もあり、そこに載せてある農地であれば、茶畑も対象になる。

問 清流発電所の現在の売電の状況はどうか。不都合はおきていないか。

答 一年目の稼働率を60%として、年間七百万円の予算を計上しているが、不都合はなく、予定通りの売電状況である。

問 損斐川町は、駆除したいノシシやシカの肉の加工で売りだそうとしているが、池田町はそのような考えはあるのか。

答 考えていない。